

令和 6 年度事業報告 月の村の会 🌙
鬼ノ城のふところ『月の村』の村開き



4月～2月まで業務委託（草刈り、藪払い）15回、と
会員による草刈り、倒木除去、道付け、山林整備作業



作業前



作業後



作業前



作業後





『新山と月の村』の看板製作 5月～10月

協力／西尾隆明氏（奥坂）、能満寺（黒尾）、地域誌『然』 真鍋さん、山田さん、まちづくり課
施工／白馬看板



5月19日、月の村の森のヨガ～いのちのエッセンス～
講師：小松原千絵先生 参加者10名（市内3名、県内7名）、子供8名



- ★風や川の音、緑の匂い、虫の気配など日常を離れ自然の中で子供と一緒に楽しくリラックスできた
- ★普段仕事や子育てに忙しく、自分の身体や自然に目を向ける時間をとれなかったことに気づいた
- ★自然の中では呼吸も深くなり身体の内側と意識を落ち着いて内観できた
- ★行の山道と帰りの山道での身体の軽さがちがいが楽になった

10月6日『食べられる野草宝探しと野草粥in月の村』講師：佐々木理可先生
参加者24名（市内9名、県内13名、県外2名）、子供2名



- ★雑草と思っていた草がこんなに美味しく食べられたこと、縄文土器で本当に調理できることに感動
- ★生きる力がついて災害時や物価高にも食べれるものは野にもあることに安心した
- ★普段感じる美味しいとはちがいカラダが喜んでいる美味しさ、苦手な味や匂いという体の反応も野生で生きる上で大切な感覚と知った
- ★五感をフルに使う体験でした

10月14日『大地と響き合うライブセレモニー&ドラムサークル』

岡野弘幹さん、純子さん 参加者35名（市内3名、県内19名、県外13名）、子供2名



★大自然の中で足を踏み手をたたき輪になってみんなで唄い、普段感じたことのない「生きている！」感じでした。★自然と共に生きていたネイティブの人達が自然を尊び暮らしていたことを知った。★この山が昔山岳仏教で栄えた時代もあると知り、歩きながら山の空気感に納得した

11月10日『本格竹細工ワークショップ』講師：平松竹細工店
参加者定員10名（市内4名、県内5名、県外1名）、子供2名



★昔はどこの家でも作っていた竹細工、竹林が大切にされたが人が利用しなくなり竹藪と呼ばれるようになり、竹細工職人も減り技術の保存継承も課題と知った★竹を切るところから籠ができるまでを教わる貴重な機会となった★竹藪に困っていたが手入れ活用してみようっときっかけになった

1月18日『火起こし体験ワークショップ』講師：NPOいのちのとし火
吉川敦子先生 参加者定員20名（市内8名、県内6名、県外6名）



★オール電化の家で火を見ることがなく子供たちに火の扱い方や大切さを体験させたかった★薪を集めて火を起こして、起こした火から焼き芋やお茶も食べれてすごいと思った★災害時に自分で火が起こせるのが心強い★ボタン一つで火がつくありがたさを知った★人と火の歴史や人の暮らしに欠かせない火を学んだ

2月11日『大地の再生～水田跡地の水のみちづくり～』

講師：もりとくらしOKAYAMA杉本圭子先生 参加者16名（市内4名、県内11名、県外1名）



★自宅の裏山の土地も棚田跡で大地の状態を教わり水はけ方法を学べてよかった★大地の再生の活動をしてきたが、総社市で参加できてよかった★自然の営みを手伝うような風や水の流れを意識した手入れにより土地の環境が変わることを知った

令和 6 年度の事業の成果

- ★『新山と月の村』看板設置→新山の歴史発信、歴史開拓に着手
- ★活動場所の維持と手つかずの藪化ゾーンの開拓→業務委託による作業効率UP
- ★全 6 回のイベントに 1 1 5 名が参加→補助金事業として総社市からの応援により多種多様なイベントに挑戦できたことで参加者層が広がった
- ★活動の広がり→自主活動から地域活動へ
- ★認知度の高まり→広報や看板、市民提案型事業としてのイベント発信により、活動に関心を持ってもらう機会が増えた

今後の課題と取り組み

★**新山から歴史資源の開拓**→地域と協力して新山一岩屋一鬼ノ城の歴史講座観光ルートづくりから**人と地域と歴史を結ぶ**

課題／山林整備、道づくり、ルートマップ作製

★**里山復活モデルケース**→里山の荒廃や耕作放棄地の問題は新山だけでなく総社市、全国各地の課題でもあり、この活動を通して、地域から愛される場づくりの里山復活モデルケースとなる

課題／山林整備、体験学習、お山遊びなど年齢層や関心などあらゆる可能性を探ってゆく

★**災害時の場の提供と備え**→水源のある開けた土地でテントで避難生活が可能、道路や交通機関が途絶えたときのための山道の活用

★**活動の継続**→補助金終了後までにファンを増やす、月の村の特産品の開発や協賛や参加費、会費などの検討

総社市市民提案型事業 初年度を終えて

これまでは有志の自主活動としての『月の村』でしたが、市民提案型事業に認定されたことにより、はじめて訪れる方や参加者でも安心して来られる場となりました。審査員の方々や総社市からのアドバイス、ご指導をいただくことで、今までになかった新山の歴史開拓の方向性が見え、より多面的な目線での活動へと展開し、地域に根づいていく確かな手答えを感じています。この事業の5年の継続をふまえて、地域活性化の自立事業としての基盤を築いていきたいです。市民提案型事業に総社市に感謝いたします。

ご清聴ありがとうございました 🌙